



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
交通バリアフリー推進の集いのお知らせ
交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
“国交省推奨”合宿型移送サービス運転協力者講習会
北海道STSセミナー
- (3) エコモからのお知らせ
NPO、ボランティアによる移送サービス研修に関するセミナー
「アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2004」の開催
関西圏の手話教室の開催
手話教室のボランティアを募集しています
市民と進める福祉の交通まちづくり講習会
～交通バリアフリー法に基づく市民参加の実践的手法を学ぶ～
知的障害・精神障害のあるお客様への交通従事者向け対応マニュアルの作成
「ゆっくり」「ていねいに」「くりかえし」 知的障害、精神障害のあるお客様への対応
バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開
らくらくおでかけネット
情報誌「旅ばりっ！（創刊号、第2号）」を配布しています
公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
交通バリアフリー法基本構想策定状況（国土交通省）
- (5) 各種催し物のお知らせ
第38回東京モーターショー
第6回西日本国際福祉機器展
第30回土木計画学研究発表会（秋大会）
- (6) その他
書籍に関して
記事募集中
お願い（必ずお読みください。）
・転送先について
・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いのお知らせ

第3回交通バリアフリー推進の集いを下記の通り、開催することになりました。参加募集を開始しました。沢山のご応募お待ちしております。締め切りは10月29日(金)までです。

開催日時：2004年11月12日(金)

13:20~16:30 交通バリアフリー推進の集い

17:00~18:30 交流会

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール(昨年同様)

参加費：無料。交流会は2,000円(当日現金で集めさせていただきます)

プログラム：

12:45 開場

13:20 開会

交通エコロジー・モビリティ財団会長 井山 嗣夫

13:25 来賓挨拶

国土交通省総合政策局長 丸山 博

13:30 バリアフリー優秀施設・活動大賞結果発表、表彰

主婦連合会参与 和田 正江

13:45 バリアフリー優秀施設・活動事例報告(事務局より)

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、横浜高速鉄道株式会社

沖縄都市モノレール株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

特定非営利活動法人ホップ障害者地域生活支援センター

14:00 小学生による交通バリアフリー体験報告

小樽市立潮見台小学校6年生 小倉 美咲

上越市立直江津小学校6年生 岡村 智緩

敦賀市立敦賀南小学校5年生 羽野 沙耶香

土庄町立淵崎小学校5年生 横山 昇平

14:25 途中休憩

14:40 パネルディスカッション 学校教育における交通バリアフリーとは

コーディネーター 大阪教育大付属中高等学校教諭

上田 学

パネラー 大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻助教授

飯田 克弘

東京学芸大学大学院連合学校教育学専攻

藤井 由布子

東京都立文京盲学校教諭

齋藤 眞一

横浜市青葉区手話ボランティア派遣運営委員長

大槻 芳子

大阪教育大附属天王寺中学校3年生

久山 遥

大阪教育大附属天王寺中学校3年生

伊堂寺 徹

16:15 会場との質疑応答

16:25 閉会挨拶

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長 児玉 明

16:30 閉会

17:00 交流会(レストランとき)(参加ご希望の方は別途2,000円を当日申し受けます)

お申込み方法：お申し込み期限 10月29日(金)までです

当財団のホームページより参加申込書(PDF方式)をプリントアウトの上、FAX03-3221-6674までお送りください。または、ご所属、お名前、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、交流会への参加の有無をお書きの上、E-mail(ecomomail@ecomomail.or.jp)、FAXでお送りください。

お問い合わせ先

バリアフリー推進ネットワーク事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部)

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 TEL03-3221-6673 FAX03-3221-6674

E-mail ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集い(平成15年11月14日開催)の当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

“国交省推奨”合宿型移送サービス運転協力者講習会

開催日 10月16日(土)~17日(日)

会場 津田山オートスクエア セミナーハウス 神奈川県川崎市高津区下作延1823

定員 40名

普通自動車免許を有し、ボランティア団体やNPO法人等、市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者として活動しているか、活動を始めようとしている方。

今回より定員に余裕がある場合は、営利法人の方も参加できます。

参加費 17,000円

受講料、テキスト代、土曜の夕食、日曜の朝食、昼食、宿泊費、保険料を含む。

問合せ先 移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

〒162-0828 東京都新宿区袋町24 岡田ビル2F

TEL & FAX 03-5261-9009 E-mail accessible-tic@pop16.odn.ne.jp

講座ホームページ <http://www.jin-navi.jp/>

北海道STSセミナー

~ 移動制約者の移動の権利を確立するために国内の現状と課題を学び

これからのSTSの方向性を探る ~

日時 10月22日(金)13:00~17:00 23日(土)9:00~17:00

会場 札幌市生涯学習センター「ちえりあ」

北海道札幌市西区宮の沢一条1 地下鉄東西線宮の沢駅下車徒歩5分

定員 200人

参加費 資料代 一般2,000円 STネット北海道会員1,500円 昼食600円

申込み・問合せ先 北海道移動・移送サービス連絡会

〒060-0004 北海道札幌市中央区北四条西12丁目1-55 ほくろビル5F

DPI北海道ブロック会議内

TEL011-219-5687 FAX011-219-5688 E-mail info@stnet-hokkaido.jp

ホームページ <http://www.stnet-hokkaido.jp/>

(3) エコモからのお知らせ

NPO、ボランティアによる移送サービス研修に関するセミナー

この度、交通エコロジー・モビリティ財団ではNPO、ボランティア等による移送サービスの研修プログラムについて考えるセミナーを企画いたしました。

今後の移送サービスの質的な発展を考えても、そこに従事する方々の教育体系の整備は重要です。将来的な展望や、現在各地で既に実践されている教育プログラムの実例などを見ながら移送サービスの教育体系の在り方について考える場にしたいと思っております。ご多忙とは存じますが、下記の通りセミナーを開催いたしますので、関心ある方々のご参加をお待ちしております。

日時 2004年10月26日(火)18:45-21:00(受付開始18:30)

場所 国立オリンピック青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

センター棟 402会議室 小田急線参宮橋駅(新宿から各駅停車で2つ目)徒歩7分

主催 交通エコロジー・モビリティ財団(電話03-3221-6673)

参加対象者 NPO、ボランティア団体等の移送サービスに従事している方

参加申し込み(事前申込制)

下記申込欄にご記入のうえ FAX にてお送り下さい。定員になり次第締め切ります(定員 80 名)、
参加費：無料

プログラム

基調報告 秋山哲男(東京都立大学教授):

NPO、ボランティアによる移送サービスの現状と課題 - 人材育成教育に求められるもの -

事例報告 森谷健二(交通エコモ財団理事):

NPO 等が行うボランティア輸送における運行管理者等リーダー及び運転者に対する人材育成のための教育体制 整備検討・実施状況報告

パネルディスカッション

コーディネーター：秋山哲男(東京都立大学大学院都市科学研究科教授)

パネリスト：黒田司郎(全国介護移送協会会長)

河崎民子(NPO 法人ワークーズ・コレクティブケアびーくる代表)

荻野陽一(NPO 法人世田谷ミニキャブ区民の会事務局長) ほか

お申し込みはファクシミリにて、「10月26日の移送サービスの研修に関するセミナーに参加します。」と明記のうえ、氏名、連絡先(電話、ファクス、メールなど)、所属団体(あれば)を御記入のうえ、03-3221-6674 までお申し込み下さい。

定員に達した場合はお断りすることがありますのでご注意下さい。お断りする場合のみご連絡いたします。

お問い合わせ 交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 担当 森谷、沢田

電話 03-3221-6673 ファクス 03-3221-6674

「アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2004」の開催

障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人々が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、11月24日に東京商工会議所・東商ホールにて「日本の高齢者・障害のある人達への配慮施策の現状と今後：～新しい社会のルール作りを目指して～」と題してシンポジウムを開催いたします。

<アクセシブルデザインとは>

製品やサービス等の一般的な設計プロセスを高齢者や障害者のニーズに配慮して拡張し、利用可能な人の範囲を拡大することを目指した設計思想に基づいたデザインのこと。

日時：平成16年11月24日(水) 13:00～17:00

定員：590名(定員になり次第 締め切らせて頂きます)

会場：東京商工会議所 東商ホール 4階 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2

参加料：無料

申し込み方法：郵送及びFAX、E-Mail でお願ひします。

FAX：(03)5770-1592 E-mail：sekiguchi@jsa.or.jp

記載事項：1.お申し込み者氏名、2.連絡先(TEL、FAX、E-mail)

*お申し込みの際は、上記のお申し込み方法が重ならないようお願い致します。

*当日は、事前に申込みされた方から優先的に入場できます。

*要約筆記を用意しております。

問合せ：<ADF シンポジウム 事務局>

財団法人日本規格協会 標準部 国際課 担当 関口 努

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-22 虎屋ビル7階

TEL：(03)5770-1596 FAX：(03)5770-1592 E-mail：sekiguchi@jsa.or.jp

関西圏の手話教室の開催

聴覚に障害ある方の理解と移動の円滑化を図るため、関西圏の交通機関従事者を対象として手話教室を開催します。

開催期間 自 平成16年10月20日(水)～毎週水曜日20回
至 平成17年 3月23日(水)
午後6時30分～8時30分(2時間)

場 所 社団法人 中央電気倶楽部 会議室 大阪市北区堂島浜2丁目1-25

参加対象者 近畿圏の鉄道事業従事者

後援 国土交通省近畿運輸局

協力 関西鉄道協会、社団法人大阪聴力障害者協会

事業主体 交通エコロジー・モビリティ財団

実施機関 財団法人関西交通経済研究センター

手話教室のボランティアを募集しています

上記の手話教室を開催する際のお手伝いをして頂ける方を募集しています。

募集人員 2名(ある程度手話ができる方)

ボランティア期間等・・・上記の開催期間、時間、場所は上記を参照

お問い合わせ・申込先

交通エコロジー・モビリティ財団 岩佐

TEL:03-3221-6673 FAX: 03-3221-6674 e-mail:t-iwasa@ecomor.jp

関西交通経済研究センター 常務理事 岡井

TEL:06-6543-6291 FAX:06-6543-6295

市民と進める福祉の交通まちづくり講習会

～交通バリアフリー法に基づく市民参加の実践的手法を学ぶ～

交通バリアフリー法に基づくバリアフリー整備が進む中、市民参加による福祉のまちづくりの役割が重要となってきています。そこで当財団では、財団法人国土技術センター、土木学会土木計画学研究委員会と共催で、講習会を実施することとしました。開催概要は下記の通りです。尚、締め切りは、10月8日(水)となっています。

日時:10月28日(木)～29日(金)

場所:目黒区心身障害者センターあいアイ館

人数:30名

参加費:15,000円(テキスト代、昼食代を含む)

申込先:お名前、性別、住所、電話番号、FAX番号、所属等をご記入の上、財団法人国土技術研究センター 調査第二部 藤村宛てにお送りください。 FAX:03-4519-5012

知的障害・精神障害のあるお客様への交通従事者向け対応マニュアルの作成

「ゆっくり」「ていねいに」「くりかえし」 知的障害、精神障害のあるお客様への対応

このたび、国土交通省では知的障害のある方、精神障害のある方の基礎知識や、対応のポイントなどを当事者や専門家の方々の意見を参考にして、わかりやすくまとめ、全国の交通事業者に配布しました。交通事業者の方にこのマニュアルを活用することにより、公共輸送機関としての安全で快適な移動サービスの向上と、障害のある方をはじめとする多くの方のスムーズな外出、一層の移動円滑化に寄与しようとするものです。

バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomor.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅 3,598 駅、空港 74、バス 153、旅客船 437 ターミナルの情報を提供しています。最近の 1 日のアクセス件数は、約 4,000 件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス : (パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>
(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>
(携帯版 = EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

情報誌「旅ぱりっ! (創刊号、第 2 号)」を配布しています

特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが発行する「旅ぱりっ! (創刊号と第 2 号)」をご希望の方にお送りします。伊勢志摩方面のバリアフリーガイドとして、駅、飲食店、宿泊、レジャー情報が満載です。今回新たに第 2 号もごさいますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

FAX03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況 (平成 16 年 8 月まで) (国土交通省)

基本構想を作成済みの市区町村 159 市町村(168 基本構想)

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/>

(5) 各種催し物のお知らせ

第 38 回東京モーターショー

～働くくるまと福祉車両～として 11 月 2 日～7 日の期間、千葉県幕張メッセにて開催される。また、3 日(水・祝)には「バリアフリー社会の実現と私たちのあるべき姿～福祉車両・交通バリアフリーからみた日本の未来」と題してシンポジウムが開催される。

日 時 : 11 月 3 日(水) 13:30～15:30

場 所 : 幕張メッセ国際会議場 2 F

URL : <http://www.tokyto-motorshow.com/>

内容 シンポジウム聴講会”バリアフリー社会の実現と私達のあるべき姿”

パネラー : UFJ 総合研究所 広石拓司 氏

サッカー解説者/スカパー専属解説者 羽中田昌 氏

タレント デーブ・スペクター氏

自動車専門誌カーグラ編集長 加藤哲也 氏

老人総合研究所 総括副参事 溝端光雄 氏

筑波大学大学院 徳田克己 氏

第 6 回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日 程 : 11 月 12 日(金)～14 日(日)

場 所 : 西日本総合展示場新館

第 30 回土木計画学研究発表会(秋大会) <http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.htm>

日 程 : 11 月 21 日(日)～23 日(火)

場 所 : 山口大学工学部

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コラム

最近の新聞に、障害者に「合理的配慮」という記事が大きく載っていた。

これは国連の特別委員会(日本も参加)で検討している障害者権利条約案の概要が書かれたもの、この中には「障害を理由とする、いかなる種類の差別も禁止する」ことが明記されており、来年か昨来年、条約採択を目指しているとのこと、これが採択されれば日本においても障害者関係法等が改正され、公共施設や学校、職場などで、車いすの段差をなくしたり、手話要員や点字、字幕、音声装置を配備することなどが予想されている。

大変嬉しいことである。これまで多くの当事者の方達の労苦のあかしが実現間近となってきている。バリアフリーはエレベーター等の物の整備ではない、心の大事さが問われていることを明らかにしている。